



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東名

上場会社名 豊田通商株式会社

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 内山 和浩

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,354,801	17.3	74,354	△3.4	82,344	△4.7	40,257	△3.8
26年3月期第2四半期	3,713,365	16.8	76,996	58.8	86,394	35.2	41,862	25.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 54,335百万円 (△61.2%) 26年3月期第2四半期 140,007百万円 (974.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	114.55	114.47
26年3月期第2四半期	119.27	119.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,344,940	1,179,641	23.1
26年3月期	4,072,728	1,156,080	23.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,003,443百万円 26年3月期 972,740百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	23.00	—	27.00	50.00
27年3月期	—	28.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600,000	11.1	162,000	0.4	166,000	1.6	76,000	4.1	216.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]4ページ「2. (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	354,056,516 株	26年3月期	354,056,516 株
27年3月期2Q	2,483,057 株	26年3月期	2,759,031 株
27年3月期2Q	351,436,045 株	26年3月期2Q	350,985,000 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成26年11月4日(火)……アナリスト・機関投資家向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済環境を概観しますと、米国を牽引役として緩やかな回復傾向が続きました。米国経済は、堅調な雇用と株価上昇による資産効果で個人消費が順調な回復を見せました。欧州経済は金融緩和と拡大が行われ、底入れ感が見られたものの、デフインフレの長期化で低成長に留まり、アセアン経済は国ごとに景気回復にばらつきがありました。新興国経済は、インドで政権交代によって消費・投資マインドが改善した一方で、中国経済は減速、ブラジルはマイナス成長となりました。また、ロシア経済はウクライナ危機による資本流出や株価下落で低迷しました。

こうした中、わが国経済は、設備投資が活発化する一方、消費税率引き上げ後の反動や天候不順により、民需が伸び悩みました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は石油製品等の取り扱い増加及び一部の連結子会社の決算期を統一したことによる影響等により、前年同四半期連結累計期間を6,415億円(17.3%)上回る4兆3,548億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下のとおりであります。なお、平成26年4月1日よりグローバル生産部品・ロジスティクス本部については名称をグローバル部品・ロジスティクス本部に変更しております。

金属本部は、鉄鋼分野では、海外自動車生産増加に 대응するため、事業会社の能力増強に取り組みました。非鉄金属分野では、Toyotsu Rare Earths India Pvt.Ltd.が、インド政府の傘下企業であるIndian Rare Earths Ltd.と原料供給につき大筋の合意を得て、当期中にレアアースの本格生産が開始できる見通しとなりました。鉄鋼原料分野では、リサイクル事業の世界展開向け、金属スクラップの取扱量で世界第2位のドイツ・スクラップ事業会社Scholz Holding GmbHに資本参加しました。売上高については、決算期統一の影響及び北米の自動車生産増加等により、前年同四半期連結累計期間を952億円(10.7%)上回る9,874億円となりました。

グローバル部品・ロジスティクス本部では、新たな省エネルギー市場の開拓を行うため、米国のBig Ass Solutionsの省エネ超大型シーリングファンを常磐興産株式会社が運営する「スバリゾートハワイアンズ」へ寄贈し、共同実証実験を開始しました。売上高については、決算期統一の影響等により、前年同四半期連結累計期間を255億円(5.8%)上回る4,672億円となりました。

自動車本部では、カンボジアにおいて、当社が出資するトヨタ車輸入販売代理店の現地パートナーであるKong Nuon Group Co.Ltd.と合弁で販売金融会社を設立し、同国にてファイナンス事業を開始しました。また、ケニアにおいて、Toyota Kenya Business Parkを設置し、完成車の物流センターや部品倉庫、中古車事業などを集約するとともに、従来のトレーニングセンターを拡充した人材育成センターを開所しました。売上高については、決算期統一の影響等により、前年同四半期連結累計期間を273億円(4.2%)上回る6,707億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部では、北米地域を電力事業分野における重要市場の一つと位置づけ、米国メリーランド州においてSt.Charles天然ガス焚き火力発電所の建設・運営に参画しました。売上高については、主に石油製品等の取り扱い増加により、前年同四半期連結累計期間を3,277億円(48.2%)上回る1兆81億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、ケニアにおいて、肥料製造事業の実施に向けてケニア農業省と肥料事業推進の覚書を締結しました。エレクトロニクス分野では、新たな事業展開への取り組み強化と顧客満足度の向上のため、株式会社トーマンエレクトロニクスの完全子会社化に向けた公開買付けを実施しました。売上高については、決算期統一の影響及び新規連結子会社の影響等により、前年同四半期連結累計期間を1,449億円(17.9%)上回る9,535億円となりました。

食料本部は、農水事業分野では、学校法人近畿大学と水産養殖事業の推進に関する覚書を締結し、より一層連携を強化するとともに、クロマグロ人工種苗の安定的な生産・供給を目指し、長崎県五島市に株式会社ツナドリーム五島種苗センターを設立しました。売上高については、海外での穀物の取り扱い増加等により、前年同四半期連結累計期間を281億円(16.9%)上回る1,943億円となりました。

生活産業本部は、リビング&ヘルスケア分野では、医療事業拡大のため、セコム医療システム株式会社及びインドのキルロスカ・グループと共同運営を行う総合病院事業会社に関し、株式会社国際協力銀行を割当先とする、第三者割当増資による優先株式を発行しました。また、インドネシアにおいて、現地リッポー・グループ他と共同で建設を進めていた、長期滞在者及び出張者向けホテルレジデンス「AXIA SOUTH CIKARANG」が完成、開業しました。売上高については、住宅資材の取り扱い減少等により、前年同四半期連結累計期間を73億円(9.2%)下回る719億円となりました。

利益につきましては、営業利益は販売費及び一般管理費の増加等により、前年同四半期連結累計期間(769億96百万円)を26億42百万円(3.4%)下回る743億54百万円となりました。経常利益は前年同四半期連結累計期間(863億94百万円)を40億50百万円(4.7%)下回る823億44百万円となりました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結累計期間(418億62百万円)を16億5百万円(3.8%)下回る402億57百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、売上債権で1,564億円、たな卸資産で432億円、投資有価証券で324億円増加し、前連結会計年度末に比べ2,722億円増加の4兆3,449億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で289億円、その他有価証券評価差額金で148億円増加した一方で、為替換算調整勘定で69億円の減少となり、前連結会計年度末に比べ236億円増加の1兆1,796億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、経済情勢の変化に合わせて為替レート等前提条件の見直しを行い、また、第2四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成26年4月25日発表の連結業績予想から変更しております。売上高は前回予想と変わらず8兆6,000億円、営業利益は前回予想を130億円(7.4%)下回る1,620億円、経常利益は前回予想を110億円(6.2%)下回る1,660億円となり、税引後の当期純利益は前回予想を40億円(5.0%)下回る760億円となる見込みです。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、主として退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金が1,563百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

従来、決算日が12月31日であった連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、Business Car及びToyota Tsusho (Shanghai) Co., Ltd.他4社の連結子会社については、連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は平成26年1月1日から9月30日までの9ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が119,330百万円、売上総利益が6,969百万円、営業利益が2,559百万円、経常利益が2,223百万円、税金等調整前四半期純利益が2,243百万円それぞれ増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	412,089	415,836
受取手形及び売掛金	1,268,331	1,424,748
たな卸資産	628,758	671,977
その他	232,928	258,656
貸倒引当金	△21,222	△24,074
流動資産合計	2,520,885	2,747,143
固定資産		
有形固定資産	504,104	523,666
無形固定資産		
のれん	202,858	179,392
その他	226,641	221,092
無形固定資産合計	429,500	400,484
投資その他の資産		
投資有価証券	471,818	504,265
その他	162,290	185,284
貸倒引当金	△15,870	△15,905
投資その他の資産合計	618,238	673,645
固定資産合計	1,551,843	1,597,796
資産合計	4,072,728	4,344,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	950,852	1,036,939
短期借入金	520,337	582,336
未払法人税等	33,099	25,435
引当金	1,538	1,526
その他	429,504	440,275
流動負債合計	1,935,332	2,086,513
固定負債		
社債	95,000	117,124
長期借入金	720,813	793,640
引当金	6,567	5,917
退職給付に係る負債	30,915	32,184
その他	128,019	129,918
固定負債合計	981,315	1,078,785
負債合計	2,916,648	3,165,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,781	154,995
利益剰余金	584,591	613,412
自己株式	△4,508	△4,051
株主資本合計	799,801	829,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,553	93,318
繰延ヘッジ損益	△6,515	△13,333
為替換算調整勘定	101,926	95,068
退職給付に係る調整累計額	△1,025	△901
その他の包括利益累計額合計	172,938	174,151
新株予約権	371	186
少数株主持分	182,968	176,011
純資産合計	1,156,080	1,179,641
負債純資産合計	4,072,728	4,344,940

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,713,365	4,354,801
売上原価	3,432,648	4,053,712
売上総利益	280,716	301,088
販売費及び一般管理費	203,720	226,734
営業利益	76,996	74,354
営業外収益		
受取利息	1,979	2,703
受取配当金	11,601	13,099
持分法による投資利益	10,697	6,667
雑収入	6,841	5,508
営業外収益合計	31,119	27,978
営業外費用		
支払利息	12,243	13,445
為替差損	7,182	4,175
雑支出	2,295	2,367
営業外費用合計	21,721	19,988
経常利益	86,394	82,344
特別利益		
固定資産売却益	476	752
投資有価証券及び出資金売却益	1,106	4,540
事業撤退損失引当金戻入額	12	1
負ののれん発生益	—	3,978
新株予約権戻入益	359	85
特別利益合計	1,955	9,357
特別損失		
固定資産処分損	363	420
減損損失	—	2,907
投資有価証券及び出資金売却損	72	69
投資有価証券及び出資金評価損	343	334
契約解約損	—	580
その他	51	61
特別損失合計	830	4,374
税金等調整前四半期純利益	87,519	87,328
法人税等	32,438	33,552
少数株主損益調整前四半期純利益	55,081	53,775
少数株主利益	13,218	13,518
四半期純利益	41,862	40,257

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	55,081	53,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,687	14,439
繰延ヘッジ損益	2,292	△7,683
為替換算調整勘定	51,223	△6,651
退職給付に係る調整額	—	96
持分法適用会社に対する持分相当額	7,723	357
その他の包括利益合計	84,926	559
四半期包括利益	140,007	54,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,952	41,444
少数株主に係る四半期包括利益	17,054	12,890

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グロー バル 部品・ ロジス ティクス	自動車	機械・エ ネルギー ・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレク トロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	892,203	441,737	643,495	680,484	808,614	166,277	79,230	3,712,043	1,321	3,713,365	—	3,713,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	332	1,641	43	206	2,573	57	329	5,183	264	5,447	△5,447	—
計	892,535	443,378	643,539	680,690	811,187	166,334	79,560	3,717,226	1,585	3,718,812	△5,447	3,713,365
セグメント利益又は損失(△)	20,964	12,286	22,474	8,781	11,606	2,201	2,994	81,309	△4,345	76,964	32	76,996

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グロー バル 部品・ ロジス ティクス	自動車	機械・エ ネルギー ・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレク トロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	987,445	467,251	670,739	1,008,174	953,573	194,380	71,960	4,353,524	1,276	4,354,801	—	4,354,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	496	1,692	8	652	2,807	62	367	6,087	253	6,341	△6,341	—
計	987,941	468,943	670,748	1,008,826	956,380	194,442	72,327	4,359,611	1,530	4,361,142	△6,341	4,354,801
セグメント利益又は損失(△)	23,992	9,838	17,015	7,852	15,822	2,941	2,005	79,469	△5,156	74,312	42	74,354

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントのうち、グローバル生産部品・ロジスティクスについては名称をグローバル部品・ロジスティクスに変更しております。

2015年3月期第2四半期連結決算概要

2014年10月31日

豊田通商株式会社

(単位: 億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q
売上高	20,840	22,707
営業利益	343	400
経常利益	449	373
四半期純利益	213	189

連結経営成績	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	43,548	37,133	6,415	17.3%
売上総利益	3,010	2,807	203	7.3%
販売費及び一般管理費	2,267	2,037	230	-
営業利益	743	769	▲26	▲3.4%
利息収支	▲107	▲102	▲5	-
受取配当金	130	116	14	-
持分法による投資損益	66	106	▲40	-
その他	▲10	▲26	16	-
経常利益	823	863	▲40	▲4.7%
特別損益	49	11	38	-
税金等調整前 四半期純利益	873	875	▲2	▲0.2%
法人税等	335	324	11	-
少数株主利益	135	132	3	-
四半期純利益	402	418	▲16	▲3.8%

主な増減要因
<p><b>【売上高】+6,415億円</b> 石油製品等の取扱い増加及び一部の連結子会社の決算期を統一したことによる影響等により機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部を中心に増加</p> <p><b>【営業利益】▲26億円</b> 販売費及び一般管理費の増加による</p> <p><b>【受取配当金】+14億円</b> 主に単体の増加による</p> <p><b>【持分法による投資損益】▲40億円</b> 主に機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部の持分法適用会社を中心に減少</p> <p><b>【その他営業外損益】+16億円</b> 主に為替差損益の良化</p> <p><b>【特別損益】+38億円</b> 主に負ののれん発生益による</p>

商品本部分別 連結売上高・営業利益	第2四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く		主な増減要因
					増減額	増減率(%)	
金 属	9,874	8,922	952	137	815	9.0%	【売上高・営業利益】 決算期統一の影響及び北米の自動車生産台数増加等により増収増益
*グローバル部品・ ロジスティクス	239	209	30	4	26	12.4%	【売上高】 決算期統一の影響等により増収 【営業利益】 前期営業外為替差損との入線りによる影響及び タイの自動車生産台数減少等により減益
自 動 車	4,672	4,417	255	119	136	3.0%	【売上高】 決算期統一の影響等により増収 【営業利益】 前期営業外為替差損との入線りによる影響及び タイの自動車生産台数減少等により減益
機 械・エ ネ ル ギ ー・ プラントプロジェクト	98	122	▲24	1	▲25	▲20.5%	【売上高】 決算期統一の影響等により増収 【営業利益】 アフリカ及びオセアニアの自動車販売会社の取扱台数 減少等により減益
化 学 品・ エレクトロニクス	6,707	6,434	273	235	38	0.6%	【売上高】 決算期統一の影響等により増収 【営業利益】 アフリカ及びオセアニアの自動車販売会社の取扱台数 減少等により減益
食 料	170	224	▲54	5	▲59	▲26.0%	【売上高】 石油製品等の取扱い増加等により増収 【営業利益】 自動車関連設備の利益減少等により減益
生 活 産 業	10,081	6,804	3,277	83	3,194	46.4%	【売上高・営業利益】 決算期統一及び新規連結子会社の影響等 により増収増益
合 計	78	87	▲9	▲4	▲5	▲6.5%	【売上高・営業利益】 決算期統一及び新規連結子会社の影響等 により増収増益
	9,535	8,086	1,449	182	1,267	15.3%	【売上高】 海外での穀物取扱い増加等により増収 【営業利益】 アフリカの飲料事業の取扱い増加等により増益
	158	116	42	5	37	30.2%	【売上高・営業利益】 住宅資材及び繊維関連の取扱い減少等により 減収減益
	1,943	1,662	281	49	232	13.5%	
	29	22	7	3	4	18.8%	
	719	792	▲73	4	▲77	▲9.6%	
	20	29	▲9	0	▲9	▲33.1%	
	43,548	37,133	6,415	810	5,605	14.8%	
	743	769	▲26	11	▲37	▲4.8%	

\* グローバル生産部品・ロジスティクス本部は、2014年4月1日より本部名称をグローバル部品・ロジスティクス本部に変更しております。

連結財政状態	第2四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	43,449	40,727	2,722	6.7%
(流動資産)	27,471	25,208	2,263	9.0%
(投資有価証券・出資金)	5,588	5,260	328	6.2%
(その他の固定資産)	10,389	10,257	132	1.3%
純資産	11,796	11,560	236	2.0%
有利子負債(NET)	12,461	10,889	1,572	14.4%
D E R (NET)	1.2	1.1	0.1	

主な増減要因
<p><b>【流動資産】+2,263億円</b> ・売上債権の増加 +1,564億円 ・たな卸資産の増加 +432億円</p> <p><b>【投資有価証券・出資金】+328億円</b> ・主に関連会社株式の取得及び時価の上昇 による増加</p> <p><b>【その他の固定資産】+132億円</b> ・有形固定資産の増加 +195億円</p> <p><b>【純資産】+236億円</b> ・利益剰余金 +289億円 (四半期純利益 +402億円、配当金 ▲94億円等) ・有価証券評価差額金 +148億円 ・為替換算調整勘定 ▲69億円 ・少数株主持分 ▲69億円</p>

連結業績予想	(修正) 当期予想	前期実績	前期比		(参考)4/25公表 当期予想	1株当たり配当金	当期 (予想)	前期
			増減額	増減率(%)				
金 属	19,500	18,282	1,218	6.7%	20,600	中間	28円	23円
グローバル部品・ ロジスティクス	460	436	24	5.3%	480	年間	56円	50円
自 動 車	9,000	8,916	84	0.9%	9,700	配当性向(連結)	25.9%	24.0%
機 械・エ ネ ル ギ ー・ プラントプロジェクト	190	229	▲39	▲17.4%	210			
化 学 品・ エレクトロニクス	13,300	12,980	320	2.5%	14,300			
食 料	380	396	▲16	▲4.1%	445			
生 活 産 業	20,000	15,267	4,733	31.0%	14,550			
合 計	240	238	2	0.7%	240			
全社	19,000	17,065	1,935	11.3%	20,400			
売 上 高	320	273	47	16.9%	305			
営 業 利 益	3,800	3,198	602	18.8%	4,600			
経 常 利 益	65	55	10	17.3%	80			
当 期 純 利 益	1,400	1,695	▲295	▲17.4%	1,800			
	65	75	▲10	▲13.4%	80			
	86,000	77,432	8,568	11.1%	86,000			
	1,620	1,613	7	0.4%	1,750			
	1,660	1,634	26	1.6%	1,770			
	760	730	30	4.1%	800			

主要指標推移		第2四半期 累計期間	前年同期 (前期末)
為替	円/米ドル	平均	103
		期末	(103)
	円/ユーロ	平均	139
		期末	(142)
金利	円TIBOR3M平均	0.21%	0.23%
	米ドルLIBOR3M平均	0.23%	0.27%
ドバイ原油(米ドル/bbl)		104	104
豪州一般炭(米ドル/トン)		70	82
シカゴコーン(セント/Bushel)		419	587